

福祉サービス第三者評価結果の公表事項

評価機関（評価機関認証No.）	社会福祉法人 福井県社会福祉協議会（福井福祉評価認証第1号）
評価調査者研修修了番号	第6-15号、第10-24号、第14-1号

【基本情報】

①施設・事業所情報

名称：大野荘	種別：救護施設	
代表者氏名：施設長 柴山 佳樹	定員（利用人数）：130名	
所在地：福井県大野市篠座17号23番地		
TEL：0779-66-3320	ホームページ：https://oonofukushikai.jp	
〔施設・事業所の概要〕		
開設年月日：昭和35年5月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 大野福祉会		
職員数	常勤職員：45名 非常勤職員：14名	
専門職員	指導員 1名 介護職員 26名 介助員 1名	
	看護師 3名 栄養士 1名 調理員 11名	
	居宅専門員 3名 相談員 2名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	一人 8部屋 二人 43部屋 三人 14部屋 四人 7部屋	

②理念・基本方針

理念：一人ひとりの立場で考え、共に生きる豊かな社会を目指して 基本方針：（1）利用者に対して「サービスの質の向上」を図ります。 （2）地域社会に対して「地域包括ケア」の中心的な役割を担います。 （3）福祉専門集団として資質向上を図ります。 （4）透明性のある組織体制を強化します。
--

③施設・事業所の特徴的な取組

当施設は、生活保護法に基づいた救護施設です。様々な障害を抱えながら生活困窮に陥っている方や刑余者、DV被害者等、障害種別にとらわれず受入対応を行い多面的な支援を行っています。救護施設は通過型の循環施設であり、本人の自立に向けた個別支援プランに基づき、高齢利用者の方には身体機能を維持するための機能訓練を中心に、また社会自立を目指す方には生活訓練や就労に向けた訓練を行う居宅生活訓練事業を実施しています。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年7月7日（契約日）～ 令和5年3月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（平成30年度）

⑤総評

【特に評価の高い点】 【Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ】 管理者は、障がいの多様化や個別支援の必要性を課題とし、実施する福祉サービスの質の現状について定期的・継続的に評価・分析を行っている。また、ケアマネ研究会や職員研修会を通して職員への教育・研修の充実を図っている。 【Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス】 施設利用に際してのサービス内容、日常生活上での留意事項についての「施設利用時における説明マニュアル（生活の写真やイラスト掲載）」を活用し、利用者からの主訴や要望等を把握している。また、利用者が退所（他福祉施設、家庭への移行等）する場合には、入退所委員会、救護施設居宅生活訓練、相談支援事業等により地域移行に向けた支援を行っている。 【A-3 自立支援】 地域生活を希望する利用者には、市内にある訓練用住居での「居宅生活訓練事業」を活用して、利用者の個別支援計画をもとに各専門スタッフと連携して社会自立に向けた取り組みを行っている。 【改善を求められる点】 【Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成】 研修計画にもとづく職員の教育・研修を実施し、復命書の回覧や報告会を行っているが、研修計画、内容、カリキュラムの評価や見直しが行われていないため、定期的な評価と見直しが望まれる。

⑥第三者評価結果に対する事業所のコメント

今回で4回目の福祉サービス第三者評価を受審しました。コロナ禍の中で活動を自粛してきたこともあり、自己評価に戸惑う所も多かったです。結果は予想以上の評価を頂きましたが、現状に満足することなく、今回の受審結果を基に、さらにサービスの質の向上をはかり、地域に開かれた信頼される施設運営を目指していきたいと思っております。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。